OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	平成十七年度・平成十八年度退職教員略歴・主要業績
Author(s)	
Citation	大阪大学大学院文学研究科紀要. 2007, 47
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/4664
rights	本文データはCiNiiから複製したものである
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

平成十七年度・平成十八年度
退職教員略歴・主要業績

平成十七年度

・後藤　昭雄　教授　国文学・東洋文学講座（日本文学）
・若山　映子　教授　美術史講座（美術史学）

平成十八年度

・猪飼　隆明　教授　日本史講座（日本史学）
・大橋　良介　教授　芸術学講座（美学・文芸学）

後藤　昭雄 教授 略歴・主要業績

1943年３月　熊本市に生まれる。

学　歴

1965年３月　九州大学文学部卒業

1967年３月　九州大学大学院文学研究科修士課程修了。

1970年３月　九州大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学。

1982年２月　文学博士の学位を九州大学より授与される。

職　歴

1970年４月　鹿児島県立短期大学講師。

1971年４月　鹿児島県立短期大学助教授。

1973年４月　静岡大学教育学部助教授。

1983年４月　大阪大学教養部助教授。

1990年12月　大阪大学教養部教授。

1994年４月　大阪大学文学部教授。

1999年４月　大阪大学大学院文学研究科教授。

2006年３月　大阪大学大学院停年退職。

非常勤講師歴

大阪女子大学

大谷大学

鹿児島大学

北九州大学

岐阜大学

九州大学

京都大学

京都女子大学

熊本大学

静岡女子大学

同志社女子大学

東北大学

徳島大学

常葉（とこは）短期大学（静岡）

名古屋大学
奈良女子大学
福岡女子大学
山口女子大学

主要業績

〔著　書〕

古本系江談抄注解（共著）武蔵野書院　1978年
平安朝漢文学論考　桜楓社　1981年
（同　補訂版）勉誠出版　2005年
類聚本系江談抄注解（共著）武蔵野書院　1983年
上野本注千字文注解（共著）和泉書院　1989年
本朝文粋（共著，新日本古典文学大系）岩波書店　1992年
平安朝漢文文献の研究　吉川弘文館　1993年
仲文章注解（共著）勉誠社　1993年
平安朝文人志　吉川弘文館　1993年
口遊注解（共著）勉誠社　1997年
江談抄　中外抄　富家語（共著，新日本古典文学大系）岩波書店　1997年
天台仏教と平安朝文人（歴史文化ライブラリー）吉川弘文館　2002年
孝子伝注解（共著）汲古書院　2002年
日本古代漢文学与中国文学（日本中国学文萃，高兵兵訳）中華書局　2006年
大江匡衡（人物叢書）吉川弘文館　2006年

〔編著書〕

金剛寺蔵注好撰（和泉書院影印叢書）和泉書院　1988年
日本詩紀拾遺　吉川弘文館　2000年

若山　映子 教授 略歴・主要業績

略　歴

昭和18年生れ。昭和40年３月京都市立美術大学（現・京都市立芸術大学美術学部）西洋画科卒業。同45年11月カトリック大学ミラノ校（イタリア）にて学位論文 *"Nuovi apporti all'iconografia nella Lombardia del Primo Quattrocento —— Masolino da Panicale a Castiglione Olona"* の公開審査の結果学位（Dottore in Lettere）を取得退学。以後ロンバルディア美術史研究所（在ミラノ）研究員。46年11月カトリック大学ミラノ校文・哲学部助手，51年４月大阪大学文学部助手，56年４月福井大学教育学部助教授，62年１月同教授，平成２年４月大阪大学文学部助教授を経て８年１月教授。平成18年３月31日をもって定年退職，同４月１日大阪大学名誉教授。専門は15～17世紀イタリア美術・文化史。大阪外国語大学，福井県立医科大学，関西学院大学，大阪大学，神戸海星女子学院大学，相愛大学，福井大学等の非常勤講師，福井県立美術館運営協議会委員，兵庫県立近代美術館（現・兵庫県立美術館）審美委員会委員，イタリア學会評議員，同編集委員を歴任。現在ロンバルディア美術史研究所（ミラノ県チェザーノ・マデルノ）評議運営委員，*Arte lombarda* 誌の審議委員，国際美術史学会日本代表代理委員。

受　賞

平成10年ロンバルディア美術史研究所功績賞（イタリア）。

主要業績

〔単　著〕

『システィーナ礼拝堂天井画 —— イメージとなった神の慈悲 ——』東北大学出版会　2005年11月30日初版第一刷発行　2006年３月30日改訂版第二刷発行。

〔主要共著〕

Maria Luisa Gatti Perer, Ivana Montani Mononi, Eiko Wakayama, *Introduzione alla Storia dell'Arte*, Milano: Edizioni la Rete, 1973（分担：pp.123-278）；

辻成史　若山映子　三浦朱門『聖都ローマ』（世界の聖域 12）講談社　1979年（分担：113-144頁：「第四章 甦える聖都ローマ」）；

若山映子　吉原英雄『ピエロ・デルラ・フランチェスカ』（世界の大画家 3）中央公論社1985年（分担：5-60，69-98頁）；

佐々木英也　森田義之　責任編集『世界美術大全集 11　イタリア・ルネサンス 1』小学館1992年（分担：197-208，408-416頁：「パオロ・ウッチェッロとアンドレア・デル・カスターニョ」）；

佐々木英也　森田義之　責任編集『世界美術大全集 13　イタリア・ルネサンス 3』小学館1994年（分担：81-96，371-383頁：「マンテーニャとフェッラーラ派」）。

〔主要論文〕

"«Novità» di Masolino a Castiglione Olona", *Arte lombarda*, XVI(1971), pp.1-16 ;

"Iconografia ritrattistica negli affreschi a Castiglione Olona", *Arte lombarda*, N.s., n.36(1972), pp.56-61, 83-87 ;

"Filarete e il compasso: nota aggiunta alla teoria prospettica albertiana", *Arte lombarda*, N.s., nn.38/39(1973), pp.161-171 ;

"Teoria prospettica albertiana e la pittura del Quattrocento", in *Il Sant'Andrea di Mantova e Leon Battista Alberti*, Mantova: Comune di Mantova, 1974, pp.175-188 ;

"Lettura dello spazio pittorico in due dipinti controriformistici del Cossali", *Arte lombarda*, N.s., n.41(1974), pp.77-82 ;

「フィラレーテと15世紀のイタリア文化 —— ローマ聖ピエトロ大聖堂扉 —— 」『待兼山論叢』第10号（1977）39-57頁；

"Il programma iconografico degli affreschi di Masolino nel Battistero di Castiglione Olona", *Arte lombarda*, N.s., n.50(1978), pp.20-32 ;

"La prospettiva come strumento della visualizzazione della «istoria»: il caso di Masolino", in *La Prospettiva Rinascimentale: codificazioni e trasgressioni*, Vol.I, a cura di Marisa Dalai Emiliani, Firenze: Centro Di, 1980, pp.151-163 ;

"La ricostruzione grafica della «Crocifissione» nel refettorio dell'Incoronata", *Arte lombarda*, N.s., nn.53/54(1980), pp.67-71 ;

"Per la datazione delle storie di Noè di Paolo Uccello: un'ipotesi di lettura", *Arte lombarda*, N.s., n.61(1982), pp.93-106 ;

"L'arte italiana ed il Concilio di Firenze: la «Porta del Paradiso» del Ghiberti" in *L'Arte del Rinascimento e la sua Universalità*, Tokyo Shinbun, 1982, pp.215-231 ;

"Lettura iconografica degli affreschi della Cappella Brancacci: analisi dei gesti e della composizione", *Commentari*, 1-4/1978(1984), pp.72-80 ;

「イタリア・ルネサンス美術に関する作品帰属の諸問題（一）」『福井大学教育学部紀要』第Ⅵ部　芸術・体育学（美術篇）第6号（1984）1-16頁；

「ピエロ・デッラ・フランチェスカ作《モンテフェルトロの祭壇画》」『福井大学教育学部紀要』第Ⅵ部　芸術・体育学（美術篇）第7号（1985）1－22頁；

"Masolino o non Masolino: problemi di attribuzione", *Arte Cristiana*, 719, vol.LXXV, N.s.(1987), pp.125-136 ;

「ミケランジェロのシスティーナ礼拝堂天井画（その一）」『福井大学教育学部紀要』第Ⅵ部　芸術・体育学（美術篇）第8号（1988）1-37頁；

「ジェンティーレ・ダ・ファブリアーノの《ヴァッレ・ロミータの祭壇画》」辻成史 編『美のパースペクティヴ』鹿島美術出版社　1989年　155-168頁；

「ミケランジェロのシスティーナ礼拝堂天井画（その二）」『フィロカリア』第6号（1989）39-87頁；

「ミケランジェロのシスティーナ礼拝堂天井画 —— ダニエル，キリストの祖先の名とリ

ビアの巫女 ―― 」『イタリア學会誌』40号（1990）93-117頁；
「ミケランジェロのシスティーナ礼拝堂天井画 ―― 《アダムの創造》 ―― 」『待兼山論叢』第25号（1991）美学篇　1-23頁；
「十五世紀イタリアの美術」神林常道ほか編　『―― 芸術学フォーラム ―― 3　西洋の美術』勁草書房　1992年　100-116頁；
「《モンテフェルトロの祭壇画》の図像と空間」『池田廉教授停年退官記念論文集』大阪外国語大学イタリア語研究室　1993年　284-301頁；
"Lettura iconografica e iconologica degli affreschi di Michelangelo nella Cappella Sistina", *Arte lombarda*, N.s., nn.105/106/107-1993(1994), pp.91-98；
「イタリア美術に見る中世とルネサンス ―― 異文化の受容とその意味」柏木隆雄　山口修 編『異文化の交流』大阪大学出版会　1996年　19-38頁；
「アルベルティと絵画芸術」若山映子　圀府寺司 編『美術史のスペクトルム』光琳社出版　1996年　104-115頁；
"Una nuova interpretazione iconografica della «Creazione di Adamo» di Michelangelo", in *Studi di Storia dell'arte in onore di Maria Luisa Gatti Perer*, a cura di Marco Rossi e Alessandro Rovetta, Milano: Vita e Pensiero, 1999, pp.215-222, figg.104-106；
「ピカソの《アヴィニョンの娘たち》」『待兼山論叢』第37号（2003）美学篇1-27頁；
"La corte di re Sigismondo e l'arte italiana del Quattrocento", *Arte lombarda*, N.s. n.139, 2003(2004), pp.56-63；
「礼拝堂に描かれた天井壁画の研究と写真」『美術史』第160冊（2006）392-407頁。

〔その他論文〕

「現代日本におけるカトリック芸術の課題」『声』（1965年）21-25頁；
「国際ゴシック様式とマサッチョ」上平貢　責任編集『週刊朝日百科・世界の美術 42　マサッチョ，マソリーノ，フラ・アンジェリコ，ウッチェロ，ボッティチェリ』朝日新聞社　1979年　33-35頁；
「マンテーニャの死せるキリスト」『みづゑ』n.942（1987）36-41頁；
「ヴァティカンの秘蔵品に見るカトリック思想」『芸術グラフ』（1987年）16-19頁；
「カラヴァッジョとローマの天才　1592-1623」展『西洋美術研究』No.7（2002）185-191頁；
「システィーナ礼拝堂の絵画に見るイタリア・ルネサンス美術の魅力」『日本ペイター協会会報』第21号（2002年）1-11頁。

〔辞典：監修，執筆〕

『世界美術大事典』全6巻（監修：青柳正規，辻成史，若桑みどり，若山映子）小学館　1988-1990年（15世紀に関する項目の書き下ろし，翻訳，他の翻訳者担当項目の点検と修正を担当）；
『新カトリック大事典』全4巻 学校法人　上智学院　神カトリック大事典編纂委員会 編　研究社　1996年～現在までに3巻のみ既刊（イタリア美術関連項目の書き下ろし担当）。

猪飼　隆明 教授 略歴・主要業績

1944(昭和19)年2月13日　福井県武生市で生まれる

学　歴

1963(昭和38)年4月　京都大学工学部合成化学科入学
1967(昭和42)年4月　京都大学文学部史学科国史学専攻に転部
1969(昭和44)年4月　同大学大学院文学研究科修士課程入学
1971(昭和46)年4月　同　博士課程進学
1974(昭和49)年3月　同　単位収得退学

職　歴

1976(昭和51)年4月　熊本大学教養部講師
1978(昭和53)年4月　同　助教授
1985(昭和60)年4月　同　教授
1993(平成5)年3月～94(平成6)年1月　文部省在外研究員（英国 LSE）
1997(平成9)年4月　熊本大学文学部教授
1998(平成10)年4月　大阪大学文学部教授
1999(平成11)年4月　大阪大学大学院教授
2007(平成19)年3月　同　定年により退職

主要業績

〔著　書〕

『熊本県の百年』（共著）山川出版　1985年
『対外観』日本近代思想体系12（共編著）岩波書店　1988年
『西郷隆盛 — 西南戦争への道』岩波書店　1992年
『熊本県の歴史』（共著）山川出版　1999年
『熊本明治秘史』熊本日日新聞社　1999年
『くまもとの女性史』本編・資料編（共編著）くまもと女性史編纂委員会　2000年
『民芸の美と禅 — 猪飼邦全遺稿 — 』（編著）猪飼久栄　2004年
『ハンナ・リデルと回春病院』熊本出版文化会館　2005年
『「性の隔離（セックスセグリゲイション）」と隔離政策』熊本出版文化会館　2005年
『熊本大学日本史研究室からの洞察』（編著）松本寿三郎先生・工藤敬一先生古希記念論文集刊行委員会　熊本出版文化会館　2005年
『遅咲きの女たちの遺言』（編著）熊本出版文化会館　2006年

『西郷隆盛遺訓』角川出版　2007年

〔学術論文〕

「維新期における農民闘争 — 自由民権運動の前史として —」『日本史研究』134号　1973年

「第1回帝国議会選挙と人民の闘争」『史林』57巻1号　1974年

「維新期の農村工業と地主制」『日本史研究』150・151合併号　1975年

「明治憲法体制下での国家・議会・人民」『日本史研究』157号　1975年

「日本近代社会形成期における民主主義の問題 — いわゆる通俗道徳の本質をめぐって —」『歴史科学』59・60合併号　1975年

「福沢諭吉の手紙」『日本史研究』172号　1976年

「士族反乱研究の問題点」『近代熊本』18号　1976年

「明治憲法体制の成立と農政」『近代熊本』19号　1977年

「自由民権運動研究の一視点」『歴史評論』379　1981年

「近代天皇制国家の形成・確立過程における自由民権運動の歴史的位置 — 自由民権運動と天皇制 —」『歴史評論』392　1982年

「自由民権運動研究における地域の問題」『歴史評論』415　1984年

「自由民権運動と専制政府」歴史学研究会・日本史研究会『講座日本歴史』7近代1　東大出版会　1985年

「自由民権運動と天皇制」『自由民権運動と現代』1985年

「福地桜痴」田中浩編『近代日本のジャーナリスト』お茶の水書房　1987年

「熊本俘虜収容所記事」『市史研究　くまもと』創刊号　熊本市史編纂室　1990年

「近代天皇制の歴史的特質」『熊本歴史科学研究会会報』第39号　1991年

「不平等条約からの脱却」井口和起編『日清・日露戦争』（近代日本の軌跡3）吉川弘文館　1994年

「『戦機に先立つ焼毀』をめぐって — 西南戦争の正史から消えた事実 —」『熊本歴史科学研究会会報』第47号　1995年

「水俣病問題成立の前提」水俣病訴訟弁護団『水俣から未来を見つめて』熊本日日新聞情報文化センター　1997年

「西南戦争における軍夫」『近世近代の地域と権力』大阪大学文学部日本史研究室　1998年

「黙殺された近代の民衆運動」「教科書に真実と自由を」連絡会編『徹底批判「国民の歴史」』大月書店　2000年

「『原罪』としての天皇制」関西唯物論研究会『唯物論と現代』24号　2000年

「アジアの中の天皇制」大阪歴史科学協議会『歴史科学』第161号　2000年

「西郷隆盛 — 変革への情熱・変革への反発」歴史科学協議会編『歴史が動くとき　人間

とその時代』青木書店　2001年
「近代屠畜業の展開と被差別部落」部落問題研究所紀要『部落問題研究』160　2001年
「士族反乱と西郷伝説」松尾正人編『明治維新と文明開化』（日本の時代史21）吉川弘文館　2004年
「明治維新と有司専制の成立」大阪大学大学院文学研究科『待兼山論叢』第39号史学編　2005年
「維新の激動と近代福井の成立」『福井県文書館研究紀要』第２号　2005年

大橋　良介 教授 略歴・主要業績

学　歴

昭和40年４月１日　京都大学文学部入学

昭和44年３月31日　同上哲学科近世哲学史講座卒業

昭和44年10月１日　ミュンヘン大学哲学部入学

昭和49年３月31日　同上哲学科博士課程学位（Dr. phil.）取得退学

昭和58年７月　ヴュルツブルク大学教授資格（Dr. phil. habil.）取得

職　歴

昭和49年４月１日　ミュンヘン大学哲学部哲学科第一講座助手

昭和50年４月１日　滋賀医科大学講師

（昭和昭和53／54年冬学期，ミュンヘン大学哲学科第一講座客員講師）

昭和54年７月１日　滋賀医科大学助教授

昭和60年４月１日　京都工芸繊維大学教授

（平成10年４月１日 — 12年３月31日　京都工芸繊維大学附属図書館長）

平成15年４月１日　大阪大学大学院文学研究科教授

賞　罰

平成２年７月３日　ジーボルト賞（ドイツ連邦共和国大統領より）

平成８年３月31日　フンボルト・メダル（フンボルト財団総長より）

学会および社会での主な活動

経済企画庁国民生活審議会委員（1994.4.1.-1995.3.31.）

Gesellschaft für Interkulturelle Philosophie 副会長（1995.6.-2004.3.），

Internationale Hegel-Vereinigung 理事（1997.12.-2005.4.），

石川県西田幾多郎記念哲学館名誉館長（2002.4.1.-），

西田哲学会会長（2006.7.-），

日本学術会議連携会員（2006.8.20.-）

主要業績

〔著　書〕

1．Ekstase und Gelassenheit. Zu Schelling und Heidegger. Münchner Universitäts-Schriften Bd.16（学位論文），単著，Fink Verlag, München, 1975.7.

2．放下・瞬間・場所 — シェリングとハイデッガー —，単著，創文社，東京，1975.10.
3．ヘーゲル論理学と時間性，単著，創文社，東京，1983.6.
4．Zeitlichkeitsanalyse der Hegelschen Logik（教授資格論文），単著，Alber Verlag, Freiburg i. Br., 1984.10.
5．時はいつ美となるか，単著，中央公論社，東京，1984.5.
6．「切れ」の構造 — 日本美と現代世界 —，単著，中央公論社，東京，1986.11.（第4版，2000.6.）。
7．日本的なもの，ヨーロッパ的なもの，単著，新潮社，東京，1992.2.
8．絶対者のゆくえ — ドイツ観念論と現代世界 —，単著，ミネルヴァ書房，京都，1993.5.
9．Kire. Das "Schöne" in Japan. Philosophisch-Ästhetische Reflexionen zu Geschichte und Moderne，単著，DuMont Buchverlag, Köln, 1994.10.
10．西田哲学の世界，単著，筑摩書房，東京，1995.5.
11．悲の現象論・序説，単著，創文社，東京，1998,4.
12．内なる異国　外なる日本，単著，人文書院，京都，1999.8.
13．Japan im interkulturellen Dialog, Judicium Verlag, München 1999.11.
14．京都学派と日本海軍 — 新史料「大島メモ」をめぐって —，単著，PHP 研究所，東京，2001.12.
15．聞くこととしての歴史 —「悲の現象論　歴史篇」—，単著，名古屋大学出版会，名古屋，2005.5..

〔編　著〕

1．西田哲学 — 新資料と研究の手引き —，共編著［共編者・茅野良男］，ミネルヴァ書房，京都，1987.10.
2．Die Philosophie der Kyôto-Schule. Texte und Einführung，編著，Alber Verlag, Freiburg i.Br., 1990.9.
3．叢書ドイツ観念論との対話，第一巻『総説・ドイツ観念論と現代』，編著，ミネルヴァ社，京都，1993.10.
5．ハイデッガーを学ぶ人のために，編著，世界思想社.，京都　1994.11.
6．西田哲学選集，共編［共編者・野家啓一］，燈影舎，全7巻および別巻2巻，京都，1998，2-10.
8．叢書・転換期のフィロソフィー，第一巻『〈哲学〉 —〈知〉の新たな展開』，共編著［共編者・野家啓一］，ミネルヴァ書房，京都，1999.7.
9．京都学派の思想 — 種々の像と思想のポテンシャル —，編著，人文書院，京都，2004.2.
11．ドイツ観念論を学ぶ人のために（共編著），ミネルヴァ書房，京都，2006.1.

12. Dôgen. Shôbôgenzô. Ausgewählte Schriften. Übersetzt, erläutert und herausgegeben von Ryosuke Ohashi und Rolf Elberfeld 慶応義塾大学出版会, 東京／Frommann Verlag, Stuttgart, 2006.1.,